

「介護の生産性向上」

～利用者の方のQ O L 向上から業務負担軽減につなげる
～

グループホーム・土香里
河本 圭仁

<スタート時に於ける考え方>

グループホームならではの、共同生活を維持するため、利用者の方々が、どうすれば日々の家事を手伝いやすくなるのかを検討する。（例えば立位をサポートするようなものとか、低いシンクであったりとか）結果、利用者の身体機能向上から、職員の負担軽減となるのではと考える。



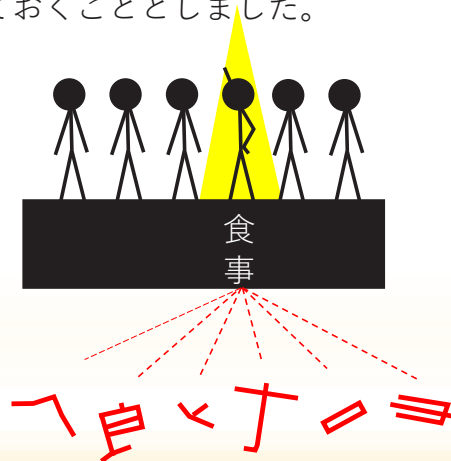
利用者の方も、
職員と共に、
他の利用者の生活を支える
仲間でありたい。

検討していく際に大切にすべき視点

- ・ 利用者の**行動を制限しない**取り組みであること。
- ・ 利用者と、職員の**安全を確保**できること。
- ・ 利用者の**活動出来る機会を従来以上に増やす**ことができる取り組みであること。
- ・ 業務の中で、**職員のみが行わなければならない部分の負担軽減**であること。

ミーティング第1回目

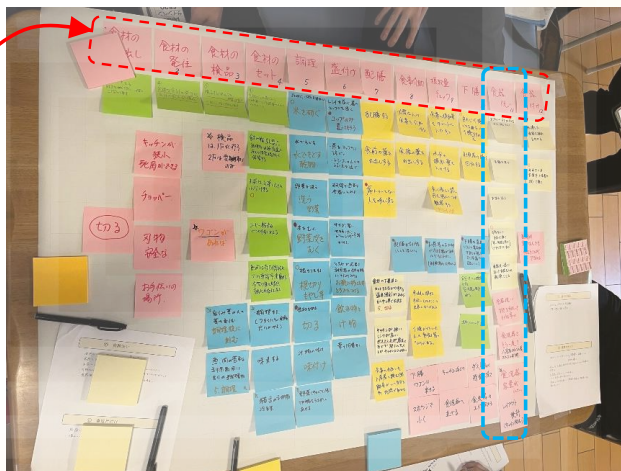
当初考えていた方針を元に「食事」に的を絞り、その工程を食材の発注から食器の片付けまで大まかに区分してみました。また、利用者の方のうち誰がどの程度の作業ができるか、現状と可能性について考えてみました。その中で利用者本人が安心して主体的に作業出来る部分を探っていくこととしました。次回までにメンバーそれぞれが「食事」について工程を更に細分化し、ポストイットに書き出しておくこととしました。



ミーティング第2回目

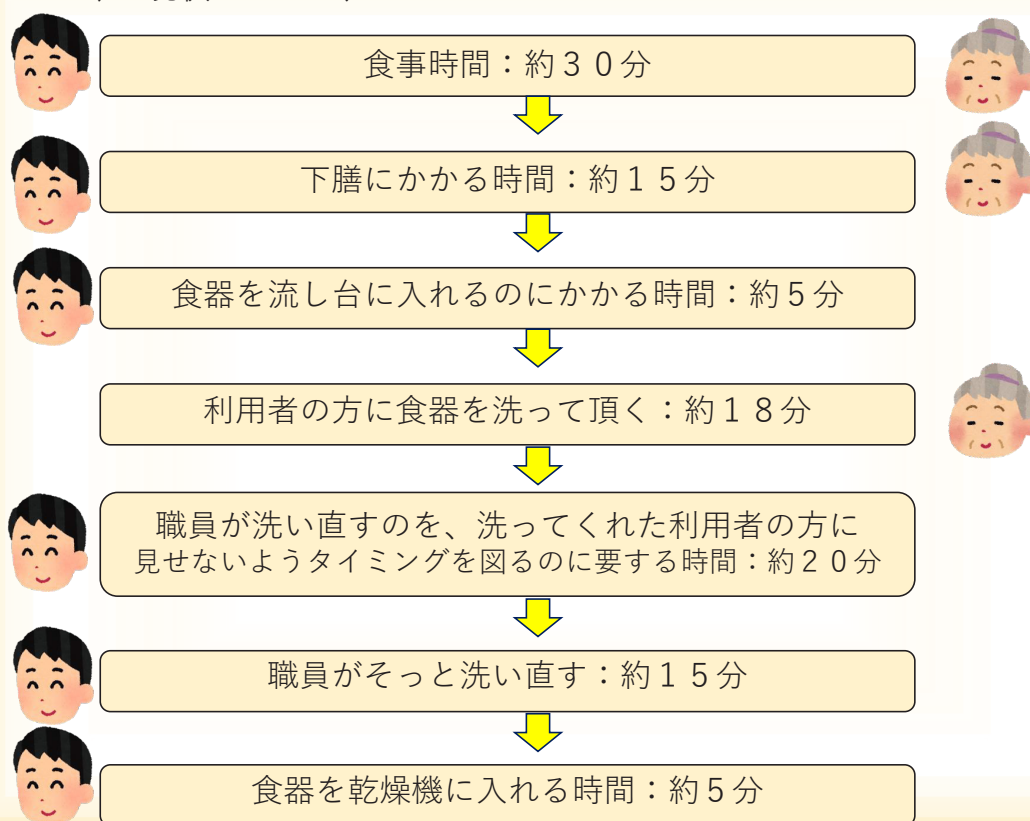
「食事」を12の項目に分け、更にその項目の中にどんな作業が含まれるのかを引き出していきました。

1. 食材の書出し
2. 食材の発注
3. 食材の検品
4. 食材のセット
5. 調理
6. 盛り付け
7. 配膳
8. 食事介助
9. 摂取量チェック
10. 下膳
11. 食器洗い
12. 食器片付け

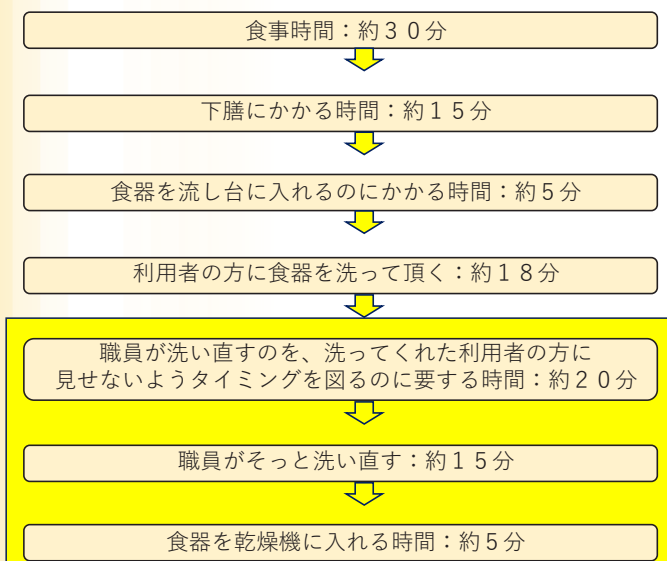


そして、この中で職員が一番時間を取られる部分という視点でみると、食事後の食器洗いであることが分かりました。

今の現状としては、・・・



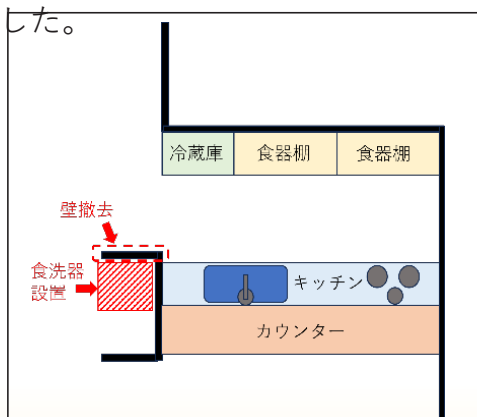
現在使用している食洗器では食器が多くて洗浄できず、いつも乾燥のみに使っている状態です。そこで、業務用の食洗器があれば、一生懸命洗って頂いた利用者の方に、洗い直ししているところを見せてしまうことなく、職員の時間も短縮できるのではという結論に至りました。



約40分短縮

ミーティング第3回目

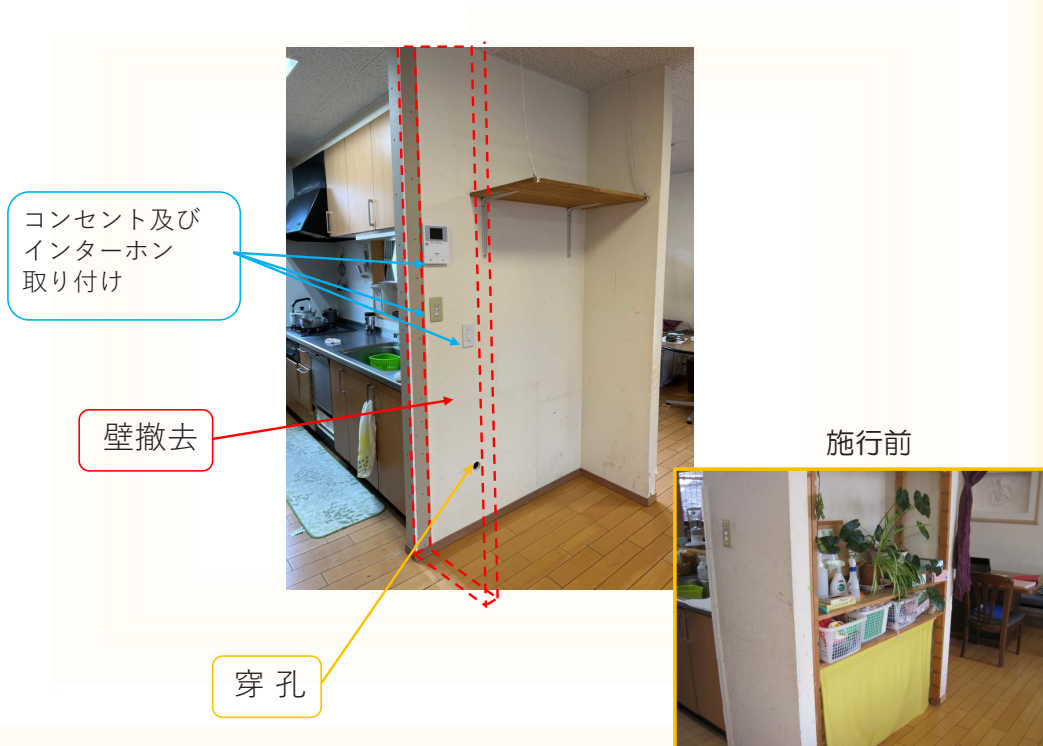
食洗器の見積もりは取ったものの、何処に設置するのがいいのかということになり、利用者の方が洗って頂いた食器を入れている水切りトレイのすぐ近くが良いのではという、メンバーからの意見があり、一部の壁を撤去し食洗器の前面をキッチンに平行に設置することにしました。



ミーティング第4回目

実際に工事に入るまでに施行部分の片付けを行うこととした。

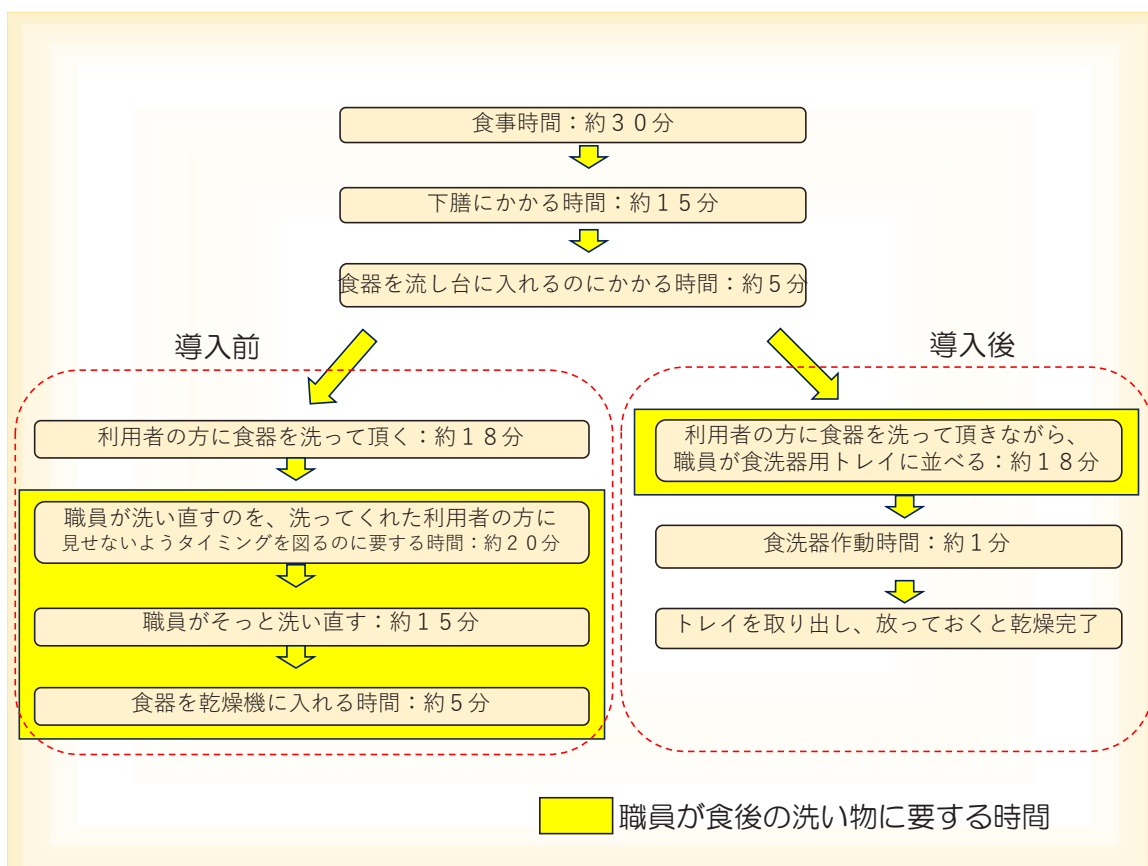
施行状況



食洗器側



食洗器用トレイ



いざ使ってみる
と・・・

- ・ 今は、トレイに並べるのは職員の手が必要。
- ・ 食洗器対応の食器かどうか分からないが、今のところ問題ない。
- ・ 食洗器用トレイを移動するときに、床が濡れてしまうため要対策。
- ・ 職員が食後の食器洗いに要する時間が22分短縮。
(時間以上に労力は軽減)

今後・・・

- ・ 更に多くの利用者の方に、食器洗いのお願いをしていく。
- ・ 利用者の方が洗ってくれ、それをそのまま職員がトレイに並べる。
この時間をコミュニケーションの大切な時間に使う。
- ・ 職員みんなで22分をどう使うか検討していく。